鹿児島キャリアデザイン専門学校　令和6年度自己評価表

1　教育理念

深い人間愛の精神を基調として，人間尊重の理念に基づいて人格の形成を目指し，豊かな人間性と教養を備え，常に進歩し多様化するさまざまな分野のニーズに応えられる有能な人材を育成する。

2　教育目標

本校は，日々高度化する技術革新に対応できる知識と技術を備えた工業分野での人材の育成，時代のニーズに応えられる実践的で有能なクリエイターなど文化・教養分野での人材の育成，商業実務・医療秘書・医療事務に的確に対応できる商業実務分野での人材の育成，保育・幼児教育において社会の多様化したニーズに的確に対応できる教育・社会福祉分野での人材の育成，及びビューティ業界やブライダル業界で活躍できる優れた技能や有能な知識を備えた衛生分野での人材の育成，ならびに豊かな人間性と創造性を有する国際性豊かで実践的な人材の育成を行うことを目的とする。

3　本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1)「1.教育理念・目標」に関し，令和5年度はアドミッションポリシーを中心に，各科3つのポリシーの見直しを図った。
令和6年度は在校生，オープンキャンパスへの参加高校生を中心に，積極的にポリシーの周知を図るとともに，再定義したポリシーを再評価して，今後の行動指針策定に向けての土台とする。

(2)「4.学修成果」に関し，卒業生の実態把握についてのご意見をいただいた。現状は在校生の実習の有無や県内・県外で隔たりがあるため，今後一律に実態把握ができる仕組みを検討する。

(3)「5.学生支援」に関し，コロナ禍を経て，人とのコミュニケーションが苦手な学生が増加傾向にあるので，まずはクラスでのコミュニケーション力向上に向けての取り組みや，自己分析の指導等を強化し，そのうえで，　面接指導のあり方等，各学科とキャリアセンターの連携を一層強化していく。　また，卒業生への支援体制についても，更にアプローチを容易にするための仕組みづくりについて検討していく。

(4)「10.社会貢献・地域貢献」に関し，「やらされるボランティア活動から将来の自分へつなげるボランティア活動へ視野を広げる」必要性についてご意見をいただいた。学科の特性により，ボランティア活動に積極的な科とそうでない科があるが，どの科も学習している内容を活かした地域貢献（小中学生対象の職業体験等）を通じて，自己成長できるイベント等が出来ないか，模索していく。

4　評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・目標　　4　大変評価する　3　やや評価する　2　やや不十分　1　不十分　該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	学校の理念・目的は定められているか	3.9
2	社会のニーズ等を踏まえた学生の将来構想を抱いているか	3.5
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.4
4	各学科の教育目標，育成人材像は，学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.5
課題	概ね良好ではあるが，DXによる社会の変化が速いこともあり，各科が業界のニーズを確実に捉えられているかに不安を感じることもある。	
改善策	キャリアセンターが企業から聞き取った，社会の変化や業界動向をもとに，各科と確実に研究し，「業界にもとめられる人材像」を設定していく。	

(2) 学校運営　　4 大変評価する　3 やや評価する　2 やや不十分　1 不十分　該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	学園の運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.7
2	運営組織や意思決定機能は，規則等において明確化されているか，有効に機能しているか	3.5
3	人事，給与に関する規程等は整備されているか	3.6
4	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.9
5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.5
課題	概ね良好であるが、まだ効率化を図る余地がある。	
改善策	現行のTeamsをさらに理解することで効率化を図るとともに、ムダを省くための改善活動を継続していく。	

(3) 教育活動　　4 大変評価する　3 やや評価する　2 やや不十分　1 不十分　該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	業界のニーズに沿った教育課程の編成を行っているか	3.7
2	教育理念，育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.5
3	学科等のシラバスは体系的に編成されているか	3.5
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.3
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により，カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.7
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ，実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.7
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.6
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.7
9	成績評価・単位認定，進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.9
10	資格取得等に関する指導体制，カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.7
11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.5
12	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.4
課題	概ね良好であるが，確実な職業人育成のためのカリキュラム見直しや教育方法の研究に時間を多く使えていないことがある。	
改善策	業界のニーズを確実に捉え，現在の学生の学びの過程にシンクロさせるカリキュラムに変更させていくとともに，主体性や協調性などの非認知能力を育成する指導スキルを研究していく。	

(4) 学修成果　　4 大変評価する　3 やや評価する　2 やや不十分　1 不十分　該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	就職率の向上が図られているか	3.6
2	資格取得率の向上が図られているか	3.5
3	就職先企業を訪問するなどして卒業生の実態を把握しているか	3.4
課題	卒業生の活躍や現状の聞き取りが不足している。	
改善策	訪問で聞き取るとともに，遠方や訪問できない場合にはForms等の電子ツールを活用し，卒業生の実態を調査する。	

(5) 学生支援　　4 大変評価する　3 やや評価する　2 やや不十分　1 不十分　該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.7
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.6
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.8
4	課外活動に対する支援体制はあるか	3.4
5	経済的支援制度利用についての情報提供を行っているか	3.7
6	必要に応じて保護者との連携が図られているか	3.5
7	卒業生への支援体制はあるか	3.6
8	高等学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.6
課題	近年，学生の考え方の変化や成長過程での経験の差などから，学生指導に時間や工夫を要する場面が増えている。学生と個々の教員だけの対応では難しいケースも増えてきている。	
改善策	教職員側がこれまでの学生指導方法の考え方をシフトするとともに、学生への寄り添い方を学ぶ必要がある。外部研修等でスキルを学ぶことや校内研修で学生への寄り添う手法を身に付けていく機会を設ける。また，学生指導において保護者との協力連携が重要になるケースも増加しているため，保護者への連絡のタイミングなど，複数の教員で連携を取りながら決めていくことを推奨していく。	

(6) 教育環境　　4 大変評価する　3 やや評価する　2 やや不十分　1 不十分　該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	施設・設備は，教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.2
2	学内外の実習施設，インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.5
3	防災訓練を定期的に実施しているか	3.8

課題	いくつかの学科で学生のPC所有を前提とした授業形態への転換を進めてきたため，場所を選ばずに学習でいる環境が整ってきた。その一方で，接続するPCが増えたことにより，ネットワーク環境が不安定なエリアも一部確認されるようになった。
改善策	ネットワークも含め，授業や学校生活に支障が出ないようできることろから環境整備を行っていく。

(7) 学生の受け入れ募集　　4 大変評価する　3 やや評価する　2 やや不十分　1 不十分　該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	学生募集活動は適正に行われているか	3.6
2	学生募集活動において，教育成果は正確に伝えられているか	3.5
3	授業料等，徴収する金額はすべて明示しているか	3.9
課題	募集活動は適正に行われているが，入学生の減少が顕著に見られるようになった。	
改善策	教育成果はもちろん，職業の魅力発信を強化していく必要がある。業界や企業との連携や募集イベントの見直しを図り，確実な募集活動を行っていく。	

(8) 財務　　4 大変評価する　3 やや評価する　2 やや不十分　1 不十分　該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	学校の収支のバランスは取れているか	2.9
2	予算編成は教育目標・業務計画と整合性があるか	3.4
3	財務について会計監査を適切に実施しているか	3.5
4	財務の情報公開はされているか	3.7
課題	特になし	
改善策	なし	

(9) 法令等の遵守　　4 大変評価する　3 やや評価する　2 やや不十分　1 不十分　該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	法令，専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.8
2	個人情報に関し，その保護のための対策がとられているか	3.7
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.4
4	自己評価結果を公開しているか	3.8
課題	概ね良好である	
改善策	なし	

(10) 社会貢献・地域貢献　　4 大変評価する　3 やや評価する　2 やや不十分　1 不十分　該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.3
2	学生のボランティア活動を奨励，支援しているか	3.2
3	地域に対する公開講座やイベント支援等を積極的に実施しているか	3.3
課題	ライブホールや体育館等の施設の貸し出しは増えてきてはいるが，ボランティア活動や地域イベントへの参画については不十分である。	
改善策	施設だけでなく，近隣地域に貢献できるものをリサーチしていくとともに，近隣中学高校には職業理解の出張授業受け入れ等の発信を行っていく。	

(11) 国際交流　　4 大変評価する　3 やや評価する　2 やや不十分　1 不十分　該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	留学生の受け入れを行っているか	3.9
2	留学生の受け入れ，在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3.9
3	留学生の学修・生活指導等が適切に行われているか	3.8
課題	留学生受け入れ教育機関の適正校（クラス1）に選定されているため，特になし。	
改善策	なし	